

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 4日
13時14分48秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0004020500	国民年金課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00118	資格適用事業
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり
節	05	生活を支える社会保障の充実
細節	20	社会保障制度(国民健康保険・国民年金)
予算事業	10475	01 03 05 01 02 01 01 資格適用事業(国民年金費)
所属長	東風濱 義正	担当者(内線) 荒木 美佐(2545)
根拠法令等	国民年金法、国民年金法施行令	
事業開始年度	昭和35年度	直近の改正 平成29年度
改正内容	国民年金法施行規則：届出等の記載事項への個人番号の追加及び氏名変更等届出の省略	
市単独事業区分	○ 全部 ○ 一部(上乗せ、横出し等あり) ● なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)	

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	国民年金第1号被保険者及び任意加入者		
目標	被保険者からの届出の受理、事実の審査及び報告と、それに係る事務処理を適正かつ効率的に行う。		
結果	年金受給権の確保と国民年金制度の適正な運営と長期的な安定		
事業概要	被保険者の資格適用に関する届出等に係る審査・受理及び報告		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
□ 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
□ その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	3,998	3,805	4,520	4,184	5,127
人件費職員数(人)	4.88	4.88	4.81	4.81	4.26
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	39,870	38,552	38,731	38,731	33,846
総事業費(A+B)	43,868	42,357	43,251	42,915	38,973
特定財源(C)	36,033	31,173	36,332	28,211	29,904
国	36,026	31,156	36,326	28,207	29,900
府	0	0	0	0	0
その他	7	17	6	4	4
市負担(D)	7,835	11,184	6,919	14,704	9,069
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	7,835	11,184	6,919	14,704	9,069
財源計(C+D)	43,868	42,357	43,251	42,915	38,973

所属	国民年金課
事務事業番号	00118

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	国民年金の資格取得・転入・転出・資格喪失などの各種届出の受付及び事務処理を法定受託事務として実施	目標	被保険者からの届出の受理、事実の審査及び報告と、それに係る事務処理を適正かつ効率的に行う。
成果内容	年金受給権の確保と国民年金制度の適正な運営と長期的な安定	達成状況	平成29年度受付等事務処理件数：32,665件

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	高齢化時代を迎え、年金制度に関する国民の関心が高まっている中で、老後を支える年金受給権の確保と年金制度の長期的安定を図るためには、国民年金の業務を住民に最も身近な市町村が適切に処理することが不可欠であり、法定受託事務として今後も継続すべき事業である。

事務事業分析シート

所属名	国民年金課	事業名	資格適用事業	事業区分	その他
事務事業番号	00118				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	96	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	国民年金課	事務事業番号	00118
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析			

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 4日
13時19分06秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0004020500	国民年金課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00119	免除事業
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり
節	05	生活を支える社会保障の充実
細節	20	社会保障制度(国民健康保険・国民年金)
予算事業	10476	01 03 05 01 02 02 01 免除事業(国民年金費)
所属長	東風濱 義正	担当者(内線) 荒木 美佐(2545)
根拠法令等	国民年金法、国民年金法施行令	
事業開始年度	昭和35年度	直近の改正 平成29年度
改正内容	国民年金法施行規則：届出等の記載事項への個人番号の追加及び氏名変更等届出の省略	
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部(上乘せ、横出し等あり) <input checked="" type="radio"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)	

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	国民年金第1号被保険者		
目標	法定免除に関する届出、免除申請の受理、事実の審査及び報告を適正かつ効率的に行う。		
結果	年金受給権の確保と被保険者の経済的な負担軽減		
事業概要	法定免除に関する届出、保険料免除・納付猶予・学生納付特例申請の審査・受理及び報告		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	244	190	225	109	217
人件費職員数(人)	2.03	2.03	2.00	2.00	2.37
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	16,586	16,037	16,104	16,104	18,830
総事業費(A+B)	16,830	16,227	16,329	16,213	19,047
特定財源(C)	13,570	16,227	13,450	16,213	13,982
国	13,570	16,227	13,450	16,213	13,982
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	3,260	0	2,879	0	5,065
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	3,260	0	2,879	0	5,065
財源計(C+D)	16,830	16,227	16,329	16,213	19,047

所属	国民年金課
事務事業番号	00119

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	法定免除に関する届出、免除・納付猶予・学生納付特例申請の受理、事実の確認及び報告を法定受託事務として適正かつ効率的に行う。	目標	法定免除に関する届出、免除申請の受理、事実の審査及び報告を適正かつ効率的に行う。
成果内容	年金受給権の確保と被保険者の経済的な負担軽減	達成状況	平成29年度 法定免除、免除申請等の受付件数：19,562件

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	雇用情勢や雇用形態がなかなか安定が見込まれない中で、年金受給権の確保と被保険者の経済的な負担軽減を図るためには、法定受託事務として市町村が受付し、世帯構成や所得状況の確認が必要であることから、今後も継続すべき事業である。

事務事業分析シート

所属名	国民年金課	事業名	免除事業	事業区分	その他
事務事業番号	00119				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

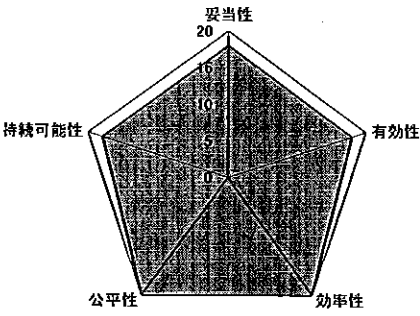
評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	94	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	国民年金課	事務事業番号	00119
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析			

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 4日
13時21分00秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0004020500	国民年金課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00120	給付事業				
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり				
節	05	生活を支える社会保障の充実				
細節	20	社会保障制度(国民健康保険・国民年金)				
予算事業	10477	01	03	05	01 02 03 01	給付事業(国民年金費)
所属長	東風濱 義正				担当者(内線)	荒木 美佐(2545)
根拠法令等	国民年金法、国民年金法施行令					
事業開始年度	昭和35年度	直近の改正	平成29年度			
改正内容	国民年金法施行規則：届出等の記載事項への個人番号の追加及び氏名変更等届出の省略					
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部(上乘せ、横出し等あり) <input checked="" type="radio"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	第1号被保険者期間を有する国民年金受給権者		
目標	給付に係る申請等の受理、事実の審査及び報告を適正かつ効率的に行う。		
結果	高齢者・障がい者・遺族・寡婦など、受給権者の状況に応じた所得保障		
事業概要	国民年金の給付に係る申請等の審査・受理及び報告		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		(千円)
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	17	14	17	16	17
人件費職員数(人)	0.67	0.67	0.81	0.81	1.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	5,474	5,293	6,523	6,523	7,945
総事業費(A+B)	5,491	5,307	6,540	6,539	7,962
特定財源(C)	4,415	5,307	5,378	6,539	5,829
国	4,415	5,307	5,378	6,539	5,829
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	1,076	0	1,162	0	2,133
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,076	0	1,162	0	2,133
財源計(G+D)	5,491	5,307	6,540	6,539	7,962

所属	国民年金課
事務事業番号	00120

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	受給権者からの裁定請求、その他給付に係る申請等の受理、事実の確認及び報告を法定受託事務として適正かつ効率的に行う。	目標	給付に係る申請等の受理、事実の審査及び報告を適正かつ効率的に行う。
成果内容	高齢者・障がい者・遺族・寡婦など、受給権者の状況に応じた所得保障	達成状況	平成29年度給付関係書類等の受付件数：668件

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	国民年金第1号被保険者期間を有する場合の年金給付に関する業務については、法定受託事務とされていることから、今後も継続すべき事業である。

事務事業分析シート

所属名	国民年金課	事業名	給付事業	事業区分	その他
事務事業番号	00120				

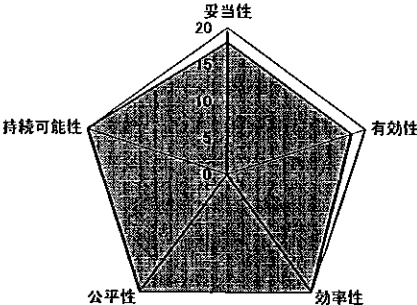
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
a. 定期的と比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	96	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	国民年金課	事務事業番号	00120
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析			

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 4日
13時22分51秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0004020500	国民年金課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00121	相談事業		
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり		
節	05	生活を支える社会保障の充実		
細節	20	社会保障制度(国民健康保険・国民年金)		
予算事業	10478	01	03	05
所属長	東風濱 義正	01	02	04
根拠法令等	国民年金法、国民年金法施行令			
事業開始年度	昭和35年度	直近の改正	平成29年度	
改正内容	国民年金法施行規則：届出等の記載事項への個人番号の追加及び氏名変更等届出の省略			
市単独事業区分	○ 全部 ○ 一部(上乗せ、横出し等あり) ● なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)			

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	国民年金の被保険者及び加入対象者、国民年金受給者及び受給権者		
目標	手続に関する相談に適切に対応し、市民サービスの向上を図る。		
結果	年金受給権の確保と国民年金制度に対する理解と信頼を得る。		
事業概要	年金受給権の確保に係る相談及び指導		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施	委託先①	
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	7,406	7,383	7,400	7,389	7,395
人件費職員数(人)	0.42	0.42	0.38	0.38	0.37
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	3,432	3,318	3,060	3,060	2,940
総事業費(A+B)	10,838	10,701	10,460	10,449	10,335
特定財源(C)	10,163	10,701	9,903	10,449	9,537
国	10,131	10,676	9,878	10,430	9,518
府	0	0	0	0	0
その他	32	25	25	19	19
市負担(D)	675	0	557	0	798
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	675	0	557	0	798
財源計(C+D)	10,838	10,701	10,460	10,449	10,335

所属	国民年金課
事務事業番号	00121

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	法定受託事務である年金制度の周知や国民年金の手続きに関する相談に適切に対応し、個々の具体的な相談・照会には、年金事務所との協力連携のもとに市民サービスの向上を図る。	目標	手続に関する相談に適切に対応し、市民サービスの向上を図る。
成果内容	年金受給権の確保と国民年金制度に対する理解と信頼を得る。	達成状況	平成29年度相談件数：23,829件

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定	
評価の説明	高齢化時代を迎え、年金制度に関する国民の関心が高まっている中で、老後を支える年金受給権の確保と年金制度の長期的安定を図るためには、国民年金の業務を住民に最も身近な市町村が適切に処理することが不可欠であることから、今後も継続すべき事業である。	

事務事業分析シート

2018/6/413:28

所属名	国民年金課	事業名	相談事業	事業区分	その他
事務事業番号	00121				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	96	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	国民年金課	事務事業番号	00121
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析			

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)